



I 第31週の発生動向 (2024/7/29~2024/8/4)

- 手足口病については、むつ保健所管内の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となりました。また、その他の5保健所管内で**警報**が継続しており、すべての保健所管内で**警報レベル**となりました。
- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内及び五所川原保健所管内の定点当たり報告数が**警報レベル**となりました。
- 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。
- 水痘については、むつ保健所管内の注意報は**解除**となりました。
- 新型コロナウイルス感染症については、報告数の増加が継続していますので、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

II 第31週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	3	0.25										3	0.05	2	
	新型コロナウイルス感染症	70	5.83	45	3.75	118	9.83	45	6.43	92	10.22	18	3.00	388	6.69	89
小児科	RSウイルス感染症	8	1.14	11	1.38	26	3.71	2	0.40	3	0.50	18	4.50	68	1.84	26
	咽頭結膜熱	2	0.29									2	0.50	4	0.11	-9
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	1.00	7	0.88	16	2.29	5	1.00	2	0.33	4	1.00	41	1.11	-2
	感染性胃腸炎	6	0.86	6	0.75	12	1.71	4	0.80	3	0.50			31	0.84	-39
	水痘					3	0.43			2	0.33	2	0.50	7	0.19	-3
	手足口病	173	24.71	128	16.00	214	30.57	111	22.20	99	16.50	40	10.00	765	20.68	274
	伝染性紅斑	5	0.71			2	0.29			10	1.67			17	0.46	4
	突発性発しん	1	0.14	1	0.13	3	0.43			1	0.17			6	0.16	-13
	ヘルパンギーナ	46	6.57	57	7.13	3	0.43	33	6.60	10	1.67	4	1.00	153	4.14	49
	流行性耳下腺炎					1	0.14							1	0.03	-1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00	1	1.00							2	0.33	1
	無菌性髄膜炎															0

感染症の窓

デング熱は、ネッタイシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスによる感染症です。

主な症状として、急激な発熱で発症し、発疹、頭痛、関節痛などがみられます。まれに、重症化してデング出血熱やデングショック症候群を発症することがあり、死に至ることもあります。

全国における週別報告数の推移は図のとおりです。コロナ禍前5年間(2015~2019年)の平均的な推移をみると、第33週頃から第40週頃(8月中旬から10月上旬)にかけて報告数が増加がみられていました。また、コロナ禍前では、全国の年間累積報告数は平均300人程度であり、コロナ禍(2020~2022年)においては、100人未満まで減少しましたが、徐々にコロナ禍前の状態に戻りつつあり、2024年第29週時点での全国の累積報告数は既に104人(速報値)となっています。報告された104人の感染地域はすべて国外となっていますので、今後、海外に渡航する際には十分な注意が必要です。

予防には、蚊に刺されないことが最も重要です。海外では長袖、長ズボンを着用したり、虫よけスプレー等を使用して、蚊に刺されないようにしましょう。また、帰国後に症状があらわれた場合は医療機関を受診し、海外への渡航歴を申し出るようにしてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞[デング熱とは\(厚生労働省HP\)](#)

デング熱

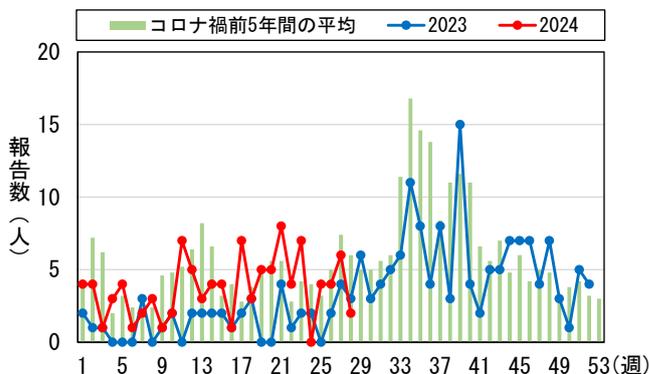


図 全国における週別報告数の推移 (2023年及び2024年は速報値)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症)：弘前1人、八戸市1人 (2024年計：55人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)：むつ1人 (2024年計：11人)
- ・レジオネラ症(四類感染症)：弘前1人 (2024年計：11人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(五類感染症)：弘前1人 (2024年計：20人)
- ・梅毒(五類感染症)：八戸市1人 (2024年計：15人)
- ・百日咳(五類感染症)：八戸市2人 (2024年計：16人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日 報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2024年第28週～2024年第31週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
28		カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	つつが虫病1人 百日咳1人			
29		水痘(入院例)1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 百日咳2人			
30		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人		侵襲性肺炎球菌感 染症2人		腸管出血性大腸菌 感染症1人
31		レジオネラ症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	梅毒1人 百日咳2人			腸管出血性大腸菌 感染症1人

Ⅵ 結核(二類感染症) (2024年第28週～2024年第31週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
28						
29		1	1			
30		1	2			
31		1	1			

第30週に八戸市保健所管内で1件の届出がありましたので、追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2024年第1週～第30週までの累計）

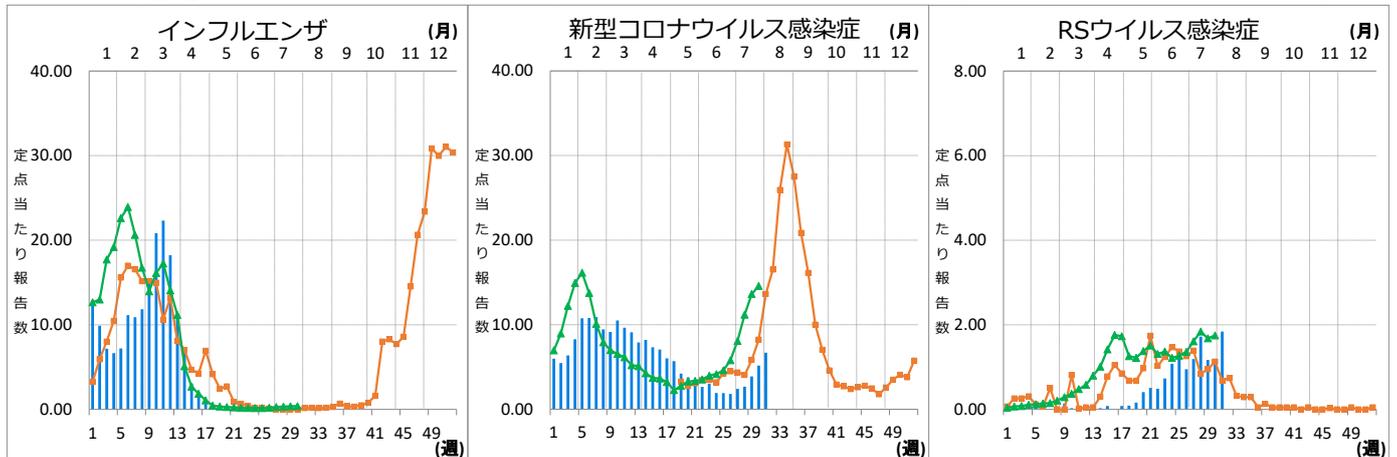
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムボックス
累積報告数	8736	2	29	1506	23	4	310	92	6	15
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
累積報告数	3	7	6	1	1	87	2	3	102	117
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎
累積報告数	196	1	3	28	18	1	1204	3	310	128
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症
累積報告数	1123	24	316	14	91	1279	577	23	393	35
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	1588	266	8023	121	47	74	828	4	25	3

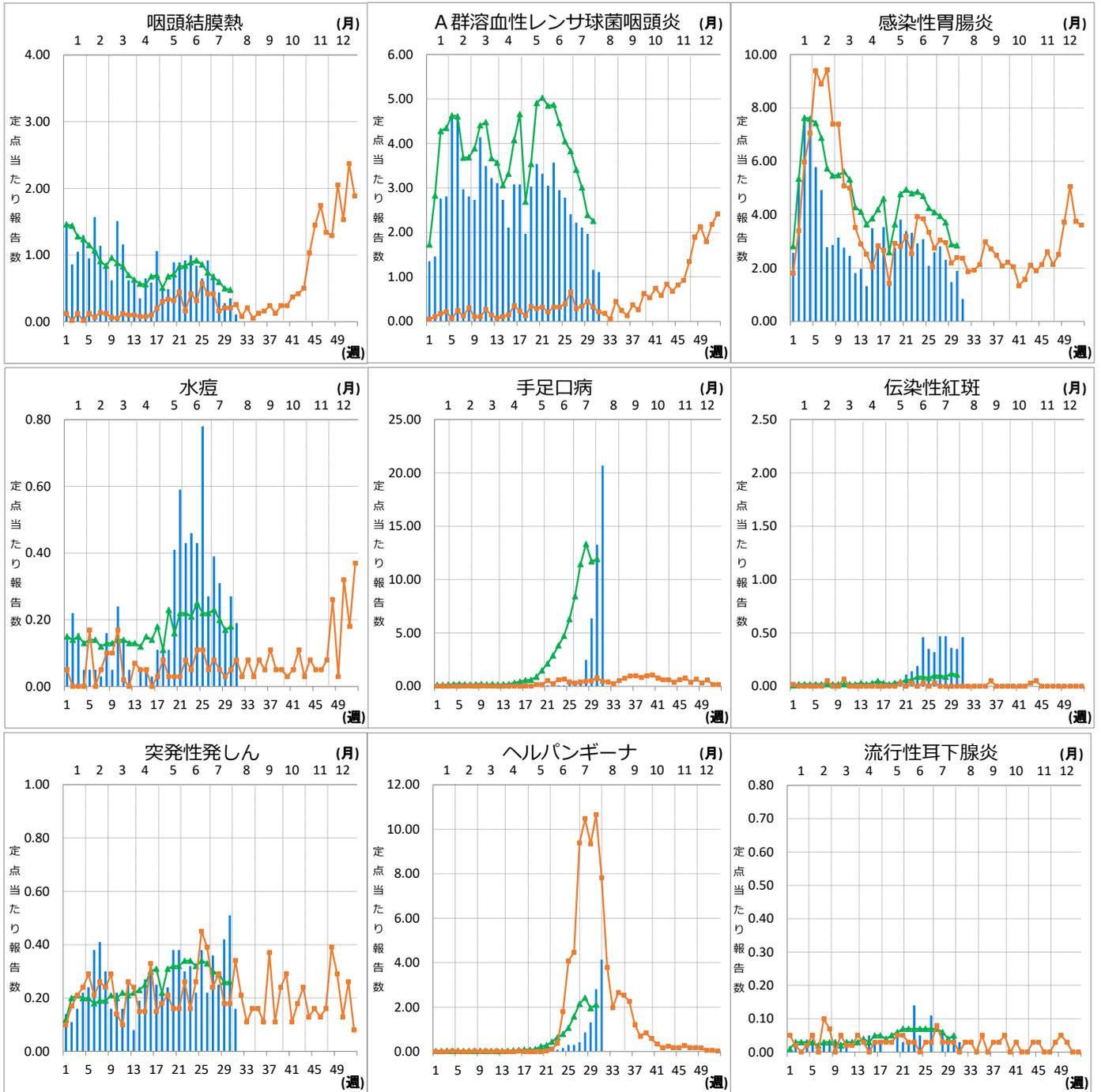
青森県（2024年第1週～第31週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	55	11	1	8	11	1	20	2	4	9
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類			
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳			
累積報告数	1	2	15	3	15	2	16			

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2024年第31週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2024年青森県、 は2023年青森県、 は2024年全国





Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2024年第31週、ただし全国は前週)

グラフの説明 **■**は2024年青森県、**■—■**は2023年青森県、**▲—▲**は2024年全国

